

研究代表者氏名	上 田 寛			研究組織	19人	
所属機関・部局・職	立命館大学・法学部・教授			所属機関所在地	京都市	
研究課題名	グローバル化時代における国際犯罪と人間の安全保障に関する総合研究					
研究の概要等	<p>前記研究課題につき、まず、関係各国のテロ犯罪、薬物・銃器に関わる犯罪、難民・密入国問題、犯罪組織などの問題状況を正確に把握し、共同研究者の間での共通認識を確立する。諸犯罪の背後に存在するポスト冷戦世界の諸問題 旧社会主義諸国の経済崩壊と「南」の貧困からもたらされた豊かな「北」の国々への無秩序な人口移動、民族・宗教対立に根ざす地域紛争の続発、麻薬および銃器の流入、日米の経済的繁栄とバブル崩壊、政治と経済の諸領域に明らかな腐敗現象、伝統的価値体系の動揺とカルト集団の流行・「原理主義」の活発化、等などを探り、国内外の犯罪現象への影響を明らかにすることが、第一の基本課題となる。その上で、第二に、各国および国際機関の犯罪対策、刑事司法の抱える問題状況を検討し、伝統的な欧米型刑事司法（日本のそれも含めて）の有効性と限界、現行の国内法・国際法の限界を浮かび上がらせる。第三に、国際人権保障の現状と進展を国際犯罪への対処との関係で、分析する。ここでは、とくに、国連機関が提唱し、日本を含む各国の対応が始まっている「人間の安全保障」論と施策との関係を重視する。また、「外国人の人権」をめぐる各国の対応も調査検討する。</p>					
当該研究課題と関連の深い論文・著書（研究代表者のみ）	上田寛・大久保史郎編著『挑戦をうける刑事司法 ボーダレス社会における犯罪と人権』（日本評論社・2001年3月刊）					
研究期間	平成14年度～18年度（5年間）					
研究経費	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	合計
（15年度以降は内約額）	千円 13,000	千円 10,800	千円 17,100	千円 6,100	千円 5,000	千円 52,000